

## 令和 5 年度 第 1 回堺市健康増進計画策定専門部会の意見について

○開催日 令和 5 年 8 月 16 日

## 第 3 章

	意見等の内容	計画への反映等
1	学校教育と連携した啓発について 小さいうちから学校教育の中で、検診や生活習慣病の予防の重要性を啓発していくようなことをわかりやすく明記してはどうか。	P35~45 生活習慣の改善（一次予防）のすべての項目 【市民の取組】と【行政や関係機関の取組】 対象世代を設け、「次世代」「現役世代」 「セカンドライフ」の項目を明記した。
2	大学生は一人暮らしが始まるなど生活習慣を確立していくことが大事な時期である。大学生が何に取り組むべきかわかるように明記してはどうか。	
3	朝食を食べていない理由には忙しい、経済的に苦しいなど色々なので、様々な取組が必要ではないか。	P35 栄養・食生活 【行政や関係機関の取組】 「性・年代別の特性を踏まえた健康相談や講座の実施」に含めて取り組む。
4	加熱式たばこの健康影響についての周知が必要ではないか。	P40 たばこ 【行政や関係機関の取組】 「喫煙がもたらす健康影響」に含めて啓発する。
5	糖尿病に対する対策について ヘモグロビン A1c の堺市平均が大阪府平均より高い。40 代からの予防と、糖尿病に対する取組が大事ではないか。 また、飲酒の量についてもチェックする必要性があるのではないか。	P45 健康チェック 【行政や関係機関の取組】 「健康チェックしやすい環境をつくります」に含めて取り組む。